

記入例

内規第1号様式

瀬戸市子ども・若者支援活動応援金事業計画書

団体名 代表者名	瀬戸こども支援プロジェクト 代表者 瀬戸 太郎
連絡責任者	氏名 瀬戸 太郎 住所 瀬戸市追分町 64-1 電話 0561-82-7111
事業名 事業実施場所(住所)	みんなでごはん パルティセと(調理室) 瀬戸市栄町45番地
事業実施期間	令和7年4月1日から令和7年12月30日まで
1日当たりの平均参加数(子どもの数)	約15人/回
運営スタッフ数(ボランティア含む)	約5人/回
開催状況	開催頻度 毎月第1日曜日・第3土曜日 開催時間 午前10時から午後4時
対象(呼びかけ)地域	瀬戸市内全域
実施スケジュール	午前10時～ ボランティア集合・会場設営 午前11時～ 調理開始 午前11時半～配膳開始 正午～ 食事 午後1時～ レクリエーション 午後2時半～子どもたちの見送り 午後3時～ 後片付け 午後4時 解散

申請理由	<p>開催予定区域には、困窮世帯だけではなく、共働きなどの理由で栄養価のある食事を食べることができない子が多くおり、食事を摂りながら居場所として過ごすことができる場所を作る必要があると考えた。その立ち上げ及び運営費用を工面するため。</p>
事業周知方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 チラシを市内小売店に置いてもらう。 2 チラシをポスト投函する。 3 町内会会議に出席し、子ども食堂の開催概要を説明する。 4 市内の学校への周知活動を依頼する。
応援金を活用する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打合せの会場代金 2 回分 ・ 子ども食堂運営にかかる食料品等の購入 ・ 紙皿、紙コップなどの食事提供にかかる消耗品等の購入 ・ 子ども食堂 PR チラシの作成 600部
申請金額	<p>¥ 362,000ー</p>
期待される効果等	<p>子ども食堂の開設を通じて、子どもと地域住民とのつながり、子どもも大人も安心して過ごすことができる居場所ができる。</p> <p>適切な食事をとることで子どもの健やかな成長を促す。</p> <p>チラシを作成し、本事業が広く認知されることで、ボランティア参加などの様々な活動基盤が強化される。</p>

〈これまでの事業実績〉

--